

## 短大特任教員教育研究業績書

平成30年4月1日

氏名	ふりがな	所属	職位	性別
高橋 利恵子	たかはし りえこ	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師・ <input checked="" type="checkbox"/> 助教	男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女

## 担当科目名

障害児保育Ⅰ・保育心理学Ⅰ・家庭支援論・児童家庭福祉

## 学歴

和暦(西暦)年 月	事項	学位
平成9年4月	宮城学院女子短期大学 保育科 入学	
平成11年3月	宮城学院女子短期大学 保育科 卒業	準学士 (保育学)
平成11年4月	宮城学院女子大学 人文学部 人文学科 心理学専攻 編入学	
平成13年3月	宮城学院女子大学 人文学部 人文学科 心理学専攻 卒業	学士(人文学)
平成26年4月	宮城教育大学大学院 特別支援教育学研究科 特別支援教育学専攻 入学	
平成29年3月	宮城教育大学大学院 特別支援教育学研究科 特別支援教育学専攻 修了	修士(教育学)

## 教育歴・職歴

名称	期間	教育内容又は業務内容
宮城県済生会乳児院	平成24年9月～ 平成26年3月	保育士常勤職員
東北大学医学部メディカルメガバンク機構	平成26年4月～ 平成27年12月	ゲノム・メディカル・リサーチ・コーディネーター
宮城県仙台保健福祉事務所	平成28年1月～ 平成28年3月	女性相談員
仙台市役所 宮城野区保健センター家庭健康課	平成28年4月～ 平成30年3月	心理相談員
小田原短期大学	平成30年4月～ 現在に至る	保育学科通信教育課程 助教

## 所属学会等

名称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
日本特殊教育学会	平成26年5月～	
日本人類遺伝学会	平成26年4月～	
日本臨床発達心理士会	平成29年4月～	

## 社会活動等

名称	活動期間	活動内容
特筆事項なし		

担当教科目に関する資格・免許等				
名称	取得年月	取得機関		
保育士証	平成 11 年 3 月	宮城県		
幼稚園教諭第二種免許状	平成 11 年 3 月	宮城県		
幼児体育公認指導員	平成 25 年 8 月	日本幼児体育学会		
ゲノムメディカルリサーチコーディネーター	平成 26 年 4 月	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構		
臨床発達心理士	平成 29 年 4 月	一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構		
研究実績に関する事項				
代表的な著書、論文等の名称	単著 共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
転換期における乳児院保育の現状と今日的課題	単	平成 28 年 3 月	学位論文 (修士)	<p>発達障害の児を担当者が他障害児も多く居る中で、また大舎制乳児院という限られたリソースのなかで丁寧に母子相互作用を培いながら発達を他職種との連携とのなかで促して行く様子を分析した。分析結果として発達には他職種の支援が担当者の児への積極的な関わりへ大きく変化をもたらす事がわかった。</p> <p>また、全国の乳児院へのアンケートから障害児の入所が増加傾向にあり、更なる専門知識を要する場であることが明らかとなり、乳児院の職務は大きな感情労働であり、職員への更なる支援の必要があるということであった。</p>
宮城野区における複雑多様化する親子支援を考える -円滑な他職種連携のための事例ツールを用いて	共	平成 30 年 2 月	平成 29 年度地域保健福祉研究業績集⑤(児童・母子保健)E	<p>当区における母子支援事業は特別な支援を必要とする母子が多く、その把握と連携スピードを早める事は喫緊の課題であった。複雑化する支援内容と保護者の情報を重層的に表現し、これまでの経過と方針を体系的に一目して理解出来るように心理士としてツールを構築した。更なる改良を保健師と共にを行い、執筆指導と仙台市で業績発表を行った。</p>
宮城野区における虐待予防教室の取り組み	共	平成 29 年 2 月	平成 28 年度地域保健福祉研究業績集⑤(児童・母子保健)E	<p>東日本大震災では仙台市内で最も甚大な被害のあった当区は、今もなお様々な形で爪痕がみられる。乳幼児の子育てという閉鎖的で急激な環境の変化に当事者の思いが虐待として現れる事も多い。要保護児童数の多さもそれを裏付けている。そのような状況の母子を支援する一つの取り組みとしての虐待予防教室である。子どもの行動の理解と問題行動の意味、アンガーマネジメント、リフレーミングを実際に行い良い点に着目する練習を行う。グラウンディングによって安全な場所を実感してもらう事などを全5セッションを通して学んでもらった。育児に対する前向きな効果が得られた。データ分析と執筆、口頭発表を仙台市で行った。</p>
1 乳児院における発達支援の取り組みへの参加観察と乳児院の今日的課題について	共	平成 27 年 9 月	第 53 回日本特殊教育学会	<p>乳児院保育の歴史的背景を文献研究を通して行い、発達に特別なニーズを必要とする児の養育に参加し乳児院の発達支援の現状を明らかにした。</p>

2 乳児院における発達支援の取り組みへの参加観察と乳児院の今日的課題について	共	平成28年9月	第54回日本特殊教育学会	乳児院保育の発達に特別なニーズを必要とする児の養育に参加し、乳児院の発達支援の現状を明らかにした。また施設職員と対象児との間に成立する母子相互作用について分析研究を行った。
3 Consultation to care staff in infant home and development support for children with special needs	共	平成28年8月	International Congress of Psychology (ICP2016)	乳児院保育職員の特別支援を要する児への関わりについて分析研究を行った。
4 宮城野区における虐待予防教室の取り組み	共	平成28年2月	平成28年度仙台市業績発表	困難ケースの多い区とされる宮城野区内での虐待予防に対する取り組みの一つである虐待予防教室を運営し、その成果と今後の課題についてアンケートを元に考察を行った。
5 宮城野区における複雑多様化する母子支援の情報共有ツール開発について(仮題)	共	平成29年2月	平成29年度仙台市業績発表	複雑多様化する母子支援における他職種連携ツールをTEMを参考に開発し、実際に医療連携ツールとして活用した実績と今後の課題について分析した。
その他 (表彰等)				